

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽松 佐一
第145号 2005年8月10日

愛労連 第1回評議員会

とき 9月23日(祝)13:30
ところ 労働会館東館ホール
解散総選挙にともない日程変更予定

愛労連第33回定期大会報告特集

愛労連 第33回 定期大会

組織の拡大で 憲法改悪、増税はね返そう



羽根新議長の音頭で団結ガンパロー

愛労連は7月24日、名古屋市中村区役所講堂で第33回定期大会を開催し、代議員や傍聴など約220名が参加しました。最初に見崎議長が幹事会を代表してあいさつ。来賓には全労連の寺間誠治組織局長、愛知県商工団体連合会の太田義郎会長、日本共産党愛知県委員会の岩中正巳委員長、林信敏前県議員、国民救援会愛知県本部の安藤巖会長らが駆けつけました。争議紹介では愛労連の支援する争議団が揃い、争議の早期解決をめざす決議を全員の賛成で採択し、たまたか仲間を激励しました。また、今大会は、昨年の定期大会で提起された組織拡大3カ年計画から1年となったことから、組合員数を純増で迎えた6単産に組織拡大表彰が行われました。午後からの討論では12単産、5地域組織、2補助組織から27人が発言し、修正意見はなく基本的には幹事会の提案する方針を支持・補強するものでした。議案採決では、1号議案(総括と方針)が保留2・賛成多数で可決、2号議案(決算及び監査報告)がすべての代議員の賛成で可決、3号議案(財政方針及び予算)が反対3・保留5・賛成多数で可決され、大会宣言が全員一致で採択されました。また、新議長に羽根克明さんをはじめ、新しい35名の役員が選出されました。(詳細は2~4面)

く進んでいる。300万人を超える失業や長時間過密労働、重大労災事故の続発、低賃金で無権利な非正規労働者の激増は日本の未来に関わる大問題。愛労連

愛労連議長 あいさつ

小泉悪政許さず、くらし 平和をまもる先頭に



見崎徳弘議長

小泉内閣は、年収500万の世帯で42万円もの増税を打ち上げている。さらに07年といわれる消費税の二桁増税がかぶさったら、庶民はお先真っ暗。解散・

ポチ」といい、イラクへの自衛隊派兵を延長する対米追従ぶりを見せているが、アフガンやイラクへの実態は国際紛争解決の手段として、戦争があまりにも無力

トヨタやNTT、JRなどは、大企業の社会的責任を問うたたいを重視し、大企業の上り下り残業を着実に改めさせてきた。「人間らしく生き働ける職場と社会」をつくるため、たまたかをいっそう強めよう。

戦後初めて武器を持つた自衛隊が海外に派兵されました。有事法制、住基ネット、イラク特措法など危険な法律が次々と作られました。小泉首相は靖国参拝で強硬な発言を繰り返して、日本を危険な方向に引きずってきま

総選挙で、社会保障の連続改悪と増税路線にきっぱり「ノー」の審判を下そう。自民党は7月7日、「新憲法」草案の叩き台となる第一次素案を発表した。小泉首相は自ら「ブッシュの

なご、百害あって一利なし」ということをくつきりと証明した。今こそ日本国憲法の心を世界にひろげるときだ。すべての職場に「九条の会」をつくり、学習と宣伝をつよめ、「戦後



羽根克明
(新)議長

総選挙で痛み押しつけの 「構造改革」政治にストップを

議長声明

8日、参議院本会議で郵政民営化関連法案が大差で否決されました。政府は国会を解散し、8月30日公示、9月11日投票で総選挙が行われることになりました。

多くの国民が民営化に疑問や反対の声をあわせて、「否決」されたこと

「痛み押しつけの罪」 リストラ・首切りの罪
医療、年金、介護、税金と毎年1兆円の利益をあげる一方で中小企業では赤字と廃業が続出。大企業ほど正社員を減らし、若者の二人一人が失業か非正規雇用になっ

は、日本を「海外で戦争をする」国に変えるものであり、絶対に許すことはできません。選挙の争点は増税と憲法「改正」です。この選挙で小泉悪政に終止符をうち、増税阻止・憲法9条とくらしを守る政治を実現させましょう。

愛労連定期大会での代議員の発言の多くが眼の前の困難に正面からぶつかり改善をめざし、あるいは解決させたという感慨を感じたのは私だけではないだろう。毎年、大会を重ねるたびに、きびしい情勢・環境という枕詞から、運動の経験とそこで培った確信に発言が変わって来ている。07年問題ということが労組の文書にみられるようになった。団塊の世代が現役役員を引退し後輩へのバトンタッチがうまくできるかどうかという課題だ。私も団塊の世代だから気にはなるが、大会の発言を聞く限り、そんな不安を感じる必要はないのではないかといいに語り合う、要求で団結し組織で一言行動、若者に問口をひろげた運動、36協定などの今ある権利をうまく活用するなど、職場にも適用できそうな教訓だ。憲法講座や九条の会など、これからひろがっていくであろう経験も出された。郡上の町中を1時間練り歩いて平和をアピールした青年の行動は、団塊の世代には気恥ずかしさが先に立つが、臆せず見習いたいものだ。自由に意見を言え、要求し、交渉できる労働組合があるということだけで、過労死を防止しているという、組合活動への期待と熱い思いを込めた発言をうけて、もう一度、原点に戻って向こう1年の活動に挑戦しようと思つ。(一)



郡上の町でしっかり平和をアピールしました

愛労連が主催する「九条平和バスツアー」が7月30日～31日に行われ、九条の会・有明講演会と靖国神社を見学。9単産22名が参加しました。

9500人が集まった有明講演会では鶴見俊輔さんや大江健三郎さんが発言。参加者からは「九条を

九条・平和バスツアー

憲法まもる勇氣もらった 加害反省のない靖国神社も見学

愛労連が主催する「九条平和バスツアー」が7月30日～31日に行われ、九条の会・有明講演会と靖国神社を見学。9単産22名が参加しました。

9500人が集まった有明講演会では鶴見俊輔さんや大江健三郎さんが発言。参加者からは「九条を

7月16～18日、岐阜県・郡上自然園にて54名の参加で第14回サマーセミナーが開催されました。

最初に、吉田豊さんの「憲法と文化」と題した講演の後、4班に分かれて平和パレードの準備。青年らしく、一人ひとりがアピ

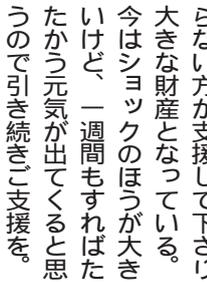
東海・北陸の仲間と元気で交流 労働組合の大切さおもしろさを再認識

最初に、吉田豊さんの「憲法と文化」と題した講演の後、4班に分かれて平和パレードの準備。青年らしく、一人ひとりがアピ



一宮地区労働連 鈴木代議員

昨年の秋から地域で共同



自治労働連 倉田代議員

劉谷市職員であった夫の過労死で、公務外と結果がでてしまった。信じられないくらいショックで話すがやると。劉谷市が事実を言ってくれないことが最大の原因。しかし私や夫を知らない方が支援して下さり大きな財産となっている。今はショックのほろが大きいけど、一週間もすればたかう元気が出てくると思うので引き続きご支援を。

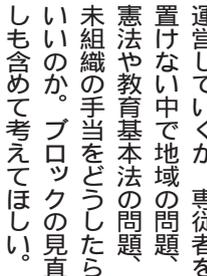


地域労働組合 石川代議員



建交労働連 谷藤代議員

愛労連の大会を純増で迎えられる嬉しい。きずなは今年で24年。1981年に全国で4番目に地域労働組合として結成した。職場の中でも相談ができる組合にならなければ。職場の中で



知多労働連 鳥羽代議員

今回の議案によって専従者への120万の補助が0になる。さらに10万の交付金が5万になりどうやって運営していくか。専従者を置けない中で地域の問題、憲法や教育基本法の問題、未組織の手当をどうしたらいいのかが、ブロックの見直しも含めて考えてほしい。



医労連 西尾代議員

医労連では1年間で1121名拡大した。昨年比104名の純増で5年間のマインナスをとりもどした。特徴は、介護保険開始からパートやヘルパーが急増しそこに働きかけたかどうかだ。秋からの大増員運動と併せてがんばりたい。

拡大の経験をつくらないで3カ年計画の2年目も絶対に進みたいと思う。部会があるが、活動がなくても記述して強化していく位置付けを。一部の企業が儲かってあとは儲からない仕組み。国際競争の下で中国などの製品と低価格競争をさせられ、それにみあった労働者がつくられていく。こういう仕組みを変えていかなければいけない。

今後の主な日程

- 衆議院総選挙公示 8月30日(火)
- 衆議院総選挙投票日 9月11日(日)
- 愛労連第1回評議員会(変更予定) 9月23日(祝) 13:30~ 労働会館東館ホール
- 見崎徳弘さんを励ます会 9月23日(祝) 18:00~ 労働会館東館ホール
- 愛労連大ソフトボール大会 10月10日(祝) 9:00~ 名古屋港・木場南広場

新役員紹介

執行委員長	振角敏広	執行委員長	藤森茂里夫
副執行委員長	鈴木弘之	副執行委員長	中尾裕子
書記長	中島恵子	書記長	渥美俊雄
書記次長	稲葉哲久	書記次長	林 達也
同	原 英彦	同	下山泰彦
同	小岩朋宏	同	長坂圭造
同	長尾 実	同	林 達也
同	西尾美沙子	同	
自治労働		郵産労働	
執行委員長	羽根克明	執行委員長	平田英友
副執行委員長	梅野敏基	副執行委員長	小倉文雄
同	伊藤慎次	同	柘植照男
同	大橋宗明	同	早川義広
同	榊原正志	同	

【前号クイズの答え】
柔・梶・相・核・果・槐・栗・杏・因・柵・林で11個でした。

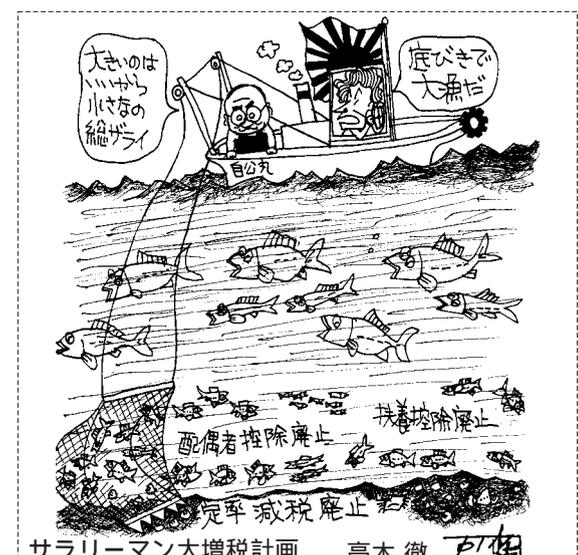
アサギマダラ 乱舞する能郷白山

岐阜県(奥美濃) 能郷白山

8月中旬をすぎると山はもう秋の気配。越美国境の秀峰、能郷白山も秋の花々、青紫のリンドウや蜜に集まるアサギマダラ

文・写真 市場文規(あるきですの会代表)

黄色いハンゴウソウ、真っ白なサラシナシヨウマなどに彩られる。そんな花々をも霞ませる美を誇るアサギマダラ。春の女神がギフチヨウなら、優雅に舞うアサギマダラは秋の妖精とも言うおつか。長い渡り(奄美諸島から沖縄諸島まで)に備え体力をつけんとヨツバヒヨドリに蜜に集まる。歩を留めてしばし魅とれる。蝶たちは人の気配もおそれず蜜を吸つのに忙しい。アクセスはR157を根尾村から福井県方面に。温見峠から山頂まで2時間半程度。R157は通行止めが多く、必ず確認を。



サラリーマン増税計画 高木 徹



判決報告集会での泰中さん

たたかう仲間たち NO.12

職場闘争と法廷闘争の連動で ゆたか福祉会の正常化めざす 愛労連ローカルユニオン

愛労連ローカルユニオン 書記長 津田 顕

去る4月27日、名古屋地裁で泰中人権侵害事件の全面勝利判決が出されました。

この事件の背景には全国有数の障害者施設である「ゆたか福祉会(350名)において労使一体の専制支配がおこなわれ、日常的に人権侵害が繰り返えされ、数多くの職員が犠牲になり利用者に大きな影響が出ていたのです。

3年前、正常化をめざす4人の職員(鈴木徳彦・安藤良男・泰中広子・金丸理津子)が勇気を出し、既存のゆたか労組を脱退しローカルユニオンに加入したところ、労使幹部は「ゆたかの敵」と位置づけ、徹底した排除方針を決めて4人に対しさまざまな嫌がらせを行って来ました。

その一つがこの事件。控訴しなかつたため判決が確定しました。この裁判が勝利できたのは、さまざまな攻撃に押し返され、反撃していく日常の職場闘争を基礎に法廷闘争をたたかってきたことにあります。

団体交渉
職場ユニオン発行
組織拡大
残業代返還
制裁金返還
労災認定
不当労働行為命令

判決から3ヶ月たった今、ローカルユニオンは中労委での全面解決に向けて法人の正常化と4人への謝罪、泰中さんの職場復帰への協議を進めています。

すでに法人内では3人の常勤理事が解任され、異常な事業運営の元凶であった前田直澄常務理事と小椋真智子元たか労組委員長は退職しました。